

【丸山杯小中学生将棋大会競技方法】

個人戦を行います。※大会スケジュールを参照。

個人戦の対局開始時間までに、対局席に着席できない場合は、不戦敗とします。

個人戦は予選をリーグ戦、決勝はトーナメント（勝ち抜け）方式で行います。

閉会式で個人戦の表彰を行います。

①個人戦

対局は、A：小学生3年生以下、B：小学生4～6年生、C：中学生クラスに分かれて行います。

予選4～3人でリーグ戦を3回戦行い、決勝トーナメントは3～4回戦を行います。

表彰は1位～3位までとします。

【大会ルール】

①対局は持ち時間10分の切れ負け戦とする。

②先手・後手の決め方はふり駒で決定する。

※どちらかが「歩」を5枚ふり、「歩」がたくさん出たらふった者の先手。「と金」がたくさん出たら相手の先手となる。

③対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることができる。時計は指した手で押さなければならない。逆の手で押した場合は審判の判定を受けることとする。

④待ったはなし。手をはなしたら差し手を変えることはできない。助言はなし。その場合は退場してもらうこともある。

⑤「二歩」やそのほかの反則があったときは負けとする。ただし、投了後に気づいたときは、勝負通りとする。

⑥千日手は連続王手以外、先手・後手を交代し指しなおす。

※同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判員に申しでること。

残り時間が少ない方が5分未満だった場合は先後を交代し、少ない方が5分になるよう両者に同じ時間をたす。

残り時間が少ない方が5分以上だった場合は先後を交代し、残り時間はそのまま指す。

⑦持ち将棋は、持ち点で相手より1点でも多い者が勝ちとなる。

※大駒5点、小駒1点で27点ずつになったときは、先手・後手を交代し指しなおす。

⑧予選ブロックで勝ち数が同一の場合、以下の順で順位を決める。

(1)勝利数とその点差 (2)当事者同士の対戦結果 (3)クジによる

⑨その他問題がおこったときは、その場で手をあげて審判員の指示に従うこと。

⑩本大会は審判員の判定を最優先とする。

【注意事項】

○ ホール内にスケジュール表や競技ルールを掲示してありますので、必ず確認してください。

○ 途中で、気分が悪くなりましたら、近くの係員に申しでてください。

○ ホール内での水分補給は大丈夫ですが、食事はできませんので、ご協力ください。

○ 対局の開始時間までに、対局席に着席してください。

着席できない場合は、やむを得ない場合をのぞき、不戦敗とします。

○ 対局中、反則など問題がおこったときは、その場で手をあげてください。

○ このほか、わからないことがありましたら、遠慮なく近くの係員に申しでてください。